

## ハリネズミが家にやってきたら…

かわいいハリネズミがおうちにやってきたら、早くふれあい可愛がってあげたいことでしょう。でも、ハリネズミは初めての場所、初めての人に出会って極度の緊張状態です。おうちにお迎えをしたら、清潔で安心できる環境を整えて、しばらくはそっと見守りながら安全であることをゆっくりと確認させてあげてください。環境に慣れ始めても、ふれあいを強要しないようにして下さい。ハリネズミにとって、急に捕まえられる事は大変なストレスになります。優しく声をかけながら、少しずつ触れ合う時間を増やしていきましょう。

しつけと称して、叩いたり、罰を与えないで下さい。ハリネズミは「叱るしつけ」には向かない生き物です。警戒心が強く、ストレスに弱いハリネズミにとって、強い衝撃は体に影響が大きすぎ、罰を与えることで火を嫌い、更に臆病な性格になる恐れがあります。おうちでのルールは叱って教えるのではなく、臭い等で誘導したり、興味を示さないように、はじめから取り除いておくように心がけましょう。



## ハリネズミと接する時の注意



### むやみにハリネズミを驚かせない

ハリネズミは警戒心が強い生き物です。丸まっている時は緊張に耐えているストレス状態です。丸まる事を強要したり近くで大声や大きな物音を立てたり追い回したり、背後から突然つかんだりしないようにして下さい。触れるときは優しく、乱暴に扱わないように心がけて下さい。また、ゆっくり眠っている時は邪魔をしないようにしてあげましょう。



### 触ったりお世話をする前後に手を洗う

ハリネズミと一緒に暮らしていても、人間とは違う生き物です。いくら仲良しでも、人から病気の原因をもらってしまったり、お世話する人や周りの人に影響を与えてしまう場合があります。ハリネズミの環境は不衛生にならないように気を付け、触れる前後に手洗いを忘れないようにしましょう。



### 事故に注意する

ハリネズミの行動範囲に、危険なものや場所が無いかに注意して下さい。害となる植物やコンセントや電源プラグ、家具の下などのもぐりこめる危険な場所は、ガードしておくか撤去して、イタズラができないように工夫してください。脱走してしまう場合を考え、出入りにナスカンなどはめておいたり、思わぬ隙間に入り込まないようにガードしておくなど、事故にあわない様に注意しましょう。

## ●たいせつなお願い●

—ハリネズミは生きています—

ハリネズミを飼うときはその命が終わるまで、飼い主としての責任と愛情をもって飼育して下さい。

全てのハリネズミが、常に健康で人間の思い通りになるわけではありません。飼い主のわがままから途中で見放したり、世話を怠らないようにしましょう。その為にも飼育する生き物の生態について飼い主がよく理解しておくことが、とても大切です。

飼育用品は数多く販売されていますが、全てをカバー出来る物ではありません。生き物は予測不可能な行動をするときがあります。その用品が自分が飼育しているハリネズミに合っているか見極め、事故が起こる前に対応してあげるのも飼い主の責任です。

専門の飼育書や図鑑などで自身の知識を深めることや、主治医を見つけるおくことも必要です。



Small Animal Products  
株式会社 三晃商会  
〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54  
TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com



Hedgehog bring happiness 飼い方ブックレット ⑪

# しあわせハリネズミ

イガ栗のようなハリの内側で、好奇心いっぱいにごちらをうかがっているハリネズミ。臆病だけど、信頼できる人には心を許してくれる優しい気持ちの持ち主です。ハリネズミとの生活を始めるための基本的な事柄を考えて行きましょう!



ハリネズミはナイーブな性格ですが、とても活動的。よく利く耳と鼻で、周りが安心できるかを考えています。彼らの生態をよく考えて、正しく接する事が必要です。基本の飼育準備を中心に、かわいくて不思議な彼らとの、生活への入り口にご案内します。

SANKO

Y36 0321

# ハリネズミとは？

ハリネズミは食虫目ハリネズミ科の生き物です。日本でのペットとしてはアフリカ原産のヨツユビハリネズミが有名です。熱帯の草原地帯に生息し地面に掘った巣穴で暮らしています。特徴的なハリ(体毛が進化して硬くなった物)が背中にたくさん生えています。警戒心が強く、身を丸くしてイガ栗のような体勢で身を守ります。夜行性で、昼間はほとんど寝て過ごしていますが、夜になるとワフワフと動き回ります。ヨーロッパでは幸運を運ぶ生き物という言い伝えがあり、古くから愛されています。平均寿命は6~10年。ペットとしての歴史は浅く、その生態は解らない事も多い生き物です。一緒に時間を大切に、しっかりとお世話をしてあげるようにしましょう。



# ハリネズミの住まい

注意深く周りを警戒して、素早く防御体制をとることで生き抜いてきたハリネズミ達は一般的に臆病な性格です。飼育するときは、ストレスを和らげてあげることが一番重要です。まず、初めて飼うために必要な、基本的な用品を用意します。ポイントは、ハリネズミが快適に過ごせる事と、できるだけ世話がしやすい構造をしている物を選ぶようにしましょう。

ハリネズミに適した温湿度  
 温度 24~28℃  
 湿度 40%以下



シヤトルケージ70を使用したレイアウト例

## ハウス

ハリネズミが安心して身を隠せるハウスを用意します。体がスッポリと隠れ、ゆったり休める大きさにしましょう。



## 食器

いつでも新鮮な水が飲めるように給水ボトルを用意します。食器は、口元が低いハリネズミのために、浅くて、洗いやすく重量感のある陶器製食器が良いでしょう。



その他、個体の状態に合わせて、運動不足を補うためにホイール等の運動器具を入れたり、トイレや砂浴び等が行える砂場(固まらないタイプの専用砂)を用意してあげると、快適に過ごしやすいです。

## 飼育容器

ケージは用品を置いて、ゆったりと過ごせるの広さがあり、床に足を守る敷材がしっかりと敷ける物を選びます。ハリネズミは排泄場所を定めないので、お手入れが容易にできる構造のものが良いでしょう。飼育容器は、静かで風通しが良い、直射日光の当たらない場所に置きます。暑すぎない・寒すぎない快適な場所で飼育するようにします。暑い時期には30℃を超えないように、特に寒い時期には20℃を下回らないようにエアコンや小動物用の保温機(ヒーター)等を利用して飼育に適した温度管理を行って下さい。

## 敷材

ハリネズミの足裏は小さく軟らかいですのでスノコは取り外し、刺激の少ない素材の紙砂や広葉樹系ウッドチップ等を使用するのが一般的です。湿度が高い状態は健康上良くありません。敷き材は早めに取替え、清潔な状態が保てるようにしましょう。

※足やハリに引っかかりやすいタオル生地等は飼育容器には入れないようにします。



# ハリネズミの食事

野生のハリネズミは、昆虫類、ミミズやナメクジから鳥のヒナや卵等まで様々な食べ物を捕食しています。飼育下でも十分な動物性タンパク質を必要としている生き物です。ハリネズミは夜行性の為 食事を夜間に摂る傾向があります。毎日新しいエサを夕方から夜間に用意して、古くならないように食べ残しは毎日取替えます。食品類はなるべく新しいものを購入し、鮮度が落ちる前に使うように注意します。



## ペレット

ペレットはハリネズミに必要な栄養を手軽に与えることが出来ます。大人のハリネズミであれば、乾燥したフードも食べる事ができますが、若い生体や乾燥したフードが食べ辛いようであれば、少しふやかした物を与えると良いでしょう。



## 副食

ハリネズミの専用フードを主食とし、ミルワーム等の昆虫類、リンゴやバナナ等の果物を副食として補助的に与えて下さい。専門の飼育書を参考に個々の体調・体重、排泄の状態に応じて食事内容や給与量を調節するようにして下さい。

## ハリネズミの不思議な習性 ~アンティング~

ハリネズミの特有的な行動のひとつとして“泡ふき行動(アンティング)”があります。ハリネズミが初めての食べ物や口にし、初めての経験をした時に口から泡状の唾液を出して自分のハリに塗りつける時があります。初めてこの行動を見た時、病気や異常と勘違いしてしまう事が多いのですが、彼らの独特な習性です。この行動の理由について、諸説がたくさんありますが、まだはっきりと解明されていません。

## ハリネズミに食べさせてはいけないもの

副食やおやつとして、専用フード以外のものを与える時は、ハリネズミが食べても良いものが確かめながら与える様にして下さい。ハリネズミが食べてはいけないものは、人間の生活のまわりに、たくさんあるという事を知り、安全性が判断できないものは与えないで下さい。また、人間用に味付け・加工されている食べものは、ハリネズミに与えないようにして下さい。「ちょっとだけなら・・・」そのちょっとはハリネズミにとって、とても危険です。

## より仲良くなる為に

ハリネズミは、聴力が敏感で物音や大声を嫌います。日中は、静かに休ませてあげるようにし、活動時間である夜に触れ合う時間を持つと良いでしょう。最初は人を怖がって、ハリを立て丸くんだり威嚇音を出す事もありますが、それに驚かず、そっと優しく声を掛けたり好物をあげてみましょう。(強要はしないで下さい。ハリネズミが自分で人間に興味をもって触れてくるのを待つようにして下さい。撫で回したり、ついたりしないようにしましょう。)



嗅覚も発達していますので人間の匂いの付いた古着等を傍に置いておいたり、あまり怖がる時は無理をしないでゆっくりと優しく接してあげて下さい。時間をかけて人に慣れたハリネズミは、ハリを立てる事無く、抱き上げる事もできるようになります。

ハリネズミの飼育には、愛情あるお世話と正しい知識が必要です。必ず、専門の飼育書を確認するようにして、健康についてはハリネズミを診察できる獣医師に相談して下さい。